学校番号	302

平成 31 年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ ＤＡ（視奏）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の音楽３（教育芸術社）						
副教材等	大学別入試課題						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

初見を技術面だけでなく、表現者として求められる音楽表現、音色、構築力などを身につけます。将来の演奏や教育での発展の基盤となるように学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的な能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽を形づくっている要素を正しくとらえることで、音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を正しくとらえることで、それらの働きを感受しながら、楽器表現を工夫し、表現意図を持っている。	音楽を形づくっている要素を正しくとらえることで、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を正しくとらえることで、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	演奏聴取	演奏聴取 定期テスト	演奏聴取 定期テスト	観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td>前期</td><td rowspan="2">初見演奏</td><td rowspan="2">・ロマン派の作品
・邦人作品を含む近現代の作品
・大学別入試課題</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a:曲想と楽曲の背景との関わりに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている

b:音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている

c:音楽表現をするために必要な奏法や呼吸法などの技能を身に付けている

d:演奏者による表現の特徴などに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている</td><td>演奏聴取
定期テスト</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>演奏聴取
定期テスト</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。